

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和2年3月30日  
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
大分県地域公共交通活性化協議会	<p>【計画策定事業の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象地域の公共交通の全体像の整理</li> <li>○路線バスの利用状況調査</li> <li>○沿線住民等の意向調査</li> <li>○広域的に運行されているバスシステムを中心とした対象地域の公共交通全体の将来像の検討</li> <li>○将来像による対象地域への影響分析</li> <li>○地域公共交通網形成計画案の作成</li> </ul> <p>【調査事業の結果概要】</p> <p>住民アンケート調査、高校生アンケート調査、乗降調査から、各バス事業者が運行する地域間幹線システムを中心とした各系統の時間帯や平日・土日祝日の利用状況の違い、運行区間、利用者の年齢層などによる利用頻度の違いが把握できた。</p> <p>これらの調査結果を踏まえ、関係市町村、事業者と協議を行うことにより、「まちづくり政策」、「観光政策」、「教育政策」などの視点から、市町村や事業者等と連携して公共交通ネットワークの見直し案を検討している。</p>	A	<p>OR2.1.29開催の協議会において、素案を審議</p> <p>【基本方針1】</p> <p>だれもが安心して生活できる移動環境の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間路線・域内路線による持続的な公共交通ネットワーク構築</li> <li>・様々な移動サービスの整理・効率化</li> <li>・公共交通の担い手の確保</li> </ul> <p>【基本方針2】</p> <p>効率的で持続可能な都市圏の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線ニーズにあった路線やダイヤの改善</li> <li>・利用者・来訪者にわかりやすい情報提供</li> <li>・乗車体験会の開催</li> </ul> <p>【基本方針3】</p> <p>交流促進による地域活力の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待合環境の整備</li> <li>・移動サービス相互の連携強化</li> </ul>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題により、今後、大分県東部圏において、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。</p> <p>本計画の策定により、まちづくりと連携した広域的な交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
久留米市地域公共交通会議	<p>第2期久留米市地域公共交通網形成計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画の検証を行い、得られた効果と残された課題を把握した上で、公共交通を取り巻く状況変化等も踏まえ、現在の問題・課題に応じた適切な計画を策定することができた。</li> </ul>	A	<p>【第2期久留米市地域公共交通網形成計画策定業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画の検証</li> <li>・地域公共交通の現状・問題点の整理</li> <li>・地域公共交通網の見直しに向けた基本方針等の検討</li> <li>・目標の実現に向けた施策等の検討</li> <li>・第2期地域公共交通網形成計画(案)の策定</li> </ul> <p>第2期久留米市地域公共交通計画では、基本的には第1期計画の施策に継続して取り組むが、特に、不便地域対策を進めるとともに、赤字バス路線について立地適正化計画との整合も図りつつ運行サービスの見直しによる効率化を図り、市全体の公共交通ネットワークをより強化していく。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市域内外の連携を支える地域公共交通網を形成</li> <li>②魅力と賑わい溢れる中心拠点づくりを支援する地域公共交通環境を形成</li> <li>③地域資源を活かした観光振興を支援する地域公共交通環境を形成</li> <li>④多様なニーズに見合った生活交通の充実</li> <li>⑤誰にとっても安全な地域公共交通環境を整備</li> <li>⑥環境負荷が小さい移動手段である公共交通への転換</li> <li>⑦公共交通利用者の維持・拡大取り組み姿勢</li> </ol> <p>市民等、交通事業者、行政のみならず地域公共交通施策を進める</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、第1期計画の検証により得られた成果や課題により、第2期地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。</p> <p>本計画の策定により、さらなる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
古賀市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の公共交通に関する現況調査</li> <li>・既存の路線バス利用状況調査</li> <li>・交通結節点のダイヤ接続調査</li> <li>・市民等アンケート調査</li> <li>・公共交通ニーズのポテンシャル評価</li> <li>・古賀市地域公共交通網形成計画(案)の取りまとめ</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査・OD調査を実施し、事業者ヒアリングの結果、利用状況のデータや統計資料も併せて現況整理を行った。</li> <li>・ポテンシャル評価を実施し、移動需要とサービスの供給状況の整合状況を確認することで、今後の公共交通に係る対応策を検討した。</li> <li>・上記の内容を踏まえ、古賀市地域公共交通網形成計画(案)を策定</li> </ul>	A	<p>【古賀市地域公共交通網形成計画策定調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度半ばまでに古賀市地域公共交通網形成計画(案)に係るパブリックコメントを実施</li> <li>・令和2年度中に古賀市地域公共交通網形成計画を策定</li> </ul> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>I：市外への外出を確保する鉄道・広域路線バスの維持及び駅の交通結節機能の強化</li> <li>II：利便性と効率性が確保された市内交通ネットワークの構築</li> <li>III：細やかな移動ニーズに対応する補完交通サービスの確保</li> <li>IV：公共交通の持続可能性の向上に向けた取組の推進</li> </ol>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。</p> <p>本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
香春町地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者(5社)、香春町公共交通に関連する企業(7社)のヒアリング調査を実施。</li> <li>住民の利用実態及びニーズ把握調査として2,060人を無作為抽出した町民アンケート(678件回収:回収率32.9%)や、主要施設(6箇所)における聞き取り調査(186件回収)を実施。</li> <li>住民を対象とした意見交換会を3回(全体2回、探銅所地区1回)実施。</li> <li>住民ニーズの把握を目的とした「買い物・通院バス」の実証運行を令和元年10月15日～12月6日の36日間実施し、利用者は576人となった。</li> <li>協議会の運営を計3回実施。</li> <li>地域公共交通網形成計画の作成を実施。</li> </ul>	A	<p>【補助対象事業名】 香春町地域公共交通網形成計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性と公共交通の現状把握と整理</li> <li>住民と交流者の移動特性・ニーズ把握調査</li> <li>住民ニーズの把握を目的とした実証運行・調査</li> <li>協議会の開催</li> <li>香春町地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> </ul> <p>【実施時期】 令和元年6月24日～令和2年3月31日</p> <p>【計画策定等に向けた方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通利用のターゲットの設定</li> <li>町内の公共交通ネットワークの整備</li> <li>町外への公共交通ネットワークの整備</li> <li>学校再編事業との連携</li> <li>高齢者への十分な配慮</li> <li>地域関係者の主体的な参加促進</li> </ul>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。</p> <p>本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
田川市地域公共交通会議	<p>○地域および公共交通の現状整理 人口動向、高齢化状況、通学・通勤動向、公共交通の運行状況等の現状について整理を行った。</p> <p>○上位関連計画等の整理 本市の各関連計画から本市の目指すまちづくりと公共交通との整合性を図るため整理を行った。</p> <p>○市民ニーズ調査 田川市民3000名(無作為抽出)を対象に市民アンケート調査を実施。</p> <p>○事業者ヒアリングの実施 鉄道、バス、タクシー事業者に現状と課題等についてヒアリングを実施し、意見や要望等を把握した。</p> <p>○田川市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ 調査結果をもとに、めざすべき将来像、基本方針、施策、目標の整理を行い、地域公共交通網形成計画の素案を作成</p> <p>○交通会議(協議会)開催 交通会議2回</p>	A	<p>補助対象事業名 地域公共交通調査事業</p> <p>事業内容 田川市地域公共交通網形成計画策定 地域、公共交通の現状整理 上位関連計画等の整理 市民ニーズ調査 田川市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</p> <p>交通会議(協議会)の開催</p> <p>計画作成方針 現状の課題や市民ニーズ等を反映させた、まちづくりと一体となった公共交通の再構築を目指す計画を策定する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。</p> <p>本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民ニーズの把握</li> <li>鳥栖市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> <li>協議会開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や公共交通の現状・課題を整理し、地域の実情に即した施策の検討を行った。</li> <li>今後の公共交通網のあり方として、基本的な方針と目標、目指す将来像や具体的な取組みについて検討を行った。</li> <li>計画案に対する市民等の意見を求めるため、パブリックコメントを実施した。</li> <li>協議会を4回開催し、計画策定に向けて協議を行った。</li> </ul>	A	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 地域公共交通網形成計画策定に係る各種データの収集・分析、その結果に基づく施策の検討、計画案のとりまとめ</p> <p>【実施時期】 令和2年3月までに策定</p> <p>【調査結果を受けた計画策定の方針】 「分かりやすく、利用しやすい、地域に愛される公共交通の実現」を基本的な方針とし、4つの目標を掲げ、その目標を達成するための各種施策に取組む。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。</p> <p>本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
神崎市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>既存公共交通の乗降調査及び住民意見交換会等によるニーズ把握</li> <li>既存計画の取組み状況評価及び上位計画、関連計画との整合による問題点、課題の整理及び方向性の検討</li> <li>神崎市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> <li>協議会開催</li> </ol> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎データ等により神崎市における公共交通の現況を整理した。</li> <li>第2次神崎市総合計画等本市の各種計画と公共交通の関係及び公共交通に求められる役割について把握し、まちづくりと公共交通の関連した方向性を整理した。</li> <li>乗降調査として市内を運行する路線バス及びコミュニティバスの利用者数、利用目的等を調査し、路線バスについては、通勤通学、コミュニティバスについては高齢者の買い物、通院の移動手段としての現状を把握した。</li> <li>市内を運行する公共交通の事業者へのヒアリングを実施し、運行形態に関する意見や事業を継続・確保するための課題等を把握した。</li> <li>平成30年度に実施した市内高齢者を対象とした公共交通に関するアンケート調査を分析し、市内公共交通に関する潜在的なニーズや利用促進のための改善点などを把握した。</li> <li>今後、上記調査、分析結果をもとに作成する神崎市地域公共交通網形成計画案を協議会で検討し、計画策定を行う。</li> </ul>	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>神崎市地域公共交通網形成計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <p>本事業で得られた公共交通の課題に対し、基本的方針、目標及び実施施策を整理し、神崎市地域公共交通網形成計画を策定する。(今後パブリックコメントを実施し、その後策定予定である。)</p> <p>【実施時期】</p> <p>令和元年度末策定予定</p> <p>【目指す将来像(案)】</p> <p>市民の日常生活を支える移動手段として通学・通勤・買い物及び通院等への利便性を高め、持続可能な地域公共交通網を形成する</p> <p>【基本方針(案)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①住民ニーズに合わせた巡回バスの維持・改善</li> <li>②通勤・通学のための広域幹線路線の維持・確保</li> <li>③交通空白地、利用の少ない地域に対応した新たな公共交通の導入</li> <li>④分かりやすい情報提供や利用体験等を実施し、新たな公共交通利用者の獲得を目指す</li> </ol>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することを検討願います。本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
武雄市地域公共交通会議	<p>(1) 公共交通関連現況調査 各種統計資料等や路線バス、コミュニティバスの乗降状況や補助金額等の分析を実施。また、上位関連計画との関連性等の整理を実施</p> <p>(2) 住民意識調査 市内在住65歳以上の2000人を抽出した市民アンケート調査、民生委員児童委員対象のアンケート調査、市内交通事業者へのヒアリングを実施</p> <p>(3) 武雄市公共交通網形成計画(案)とりまとめ 各種調査を分析し課題を抽出。本市における公共交通に求められる役割を整理の上、基本方針や施策展開の方向性を整理し、武雄市地域公共交通網形成計画(案)を作成。今後協議会にて検討し、計画の策定を行う。</p> <p>(4) 協議会開催 R1.12.19地域公共交通会議を開催し、武雄市地域公共交通網形成計画案を提案し承認された。 今後、必要に応じ協議会を開催する。</p>	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通関連現況調査、住民意識調査</li> <li>武雄市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> <li>協議会開催</li> </ul> <p>【実施時期】</p> <p>令和元年5月22日～令和2年3月31日予定</p> <p>【地域公共交通網形成計画策定に向けた方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なサービスの組み合わせにより市民生活に不可欠な移動を支える一体的・効果的な公共交通を目指す。</li> <li>「西九州のハブ都市」として周辺市町や市内の交流・回遊を支える公共交通を目指す。</li> <li>限られた資源を有効に活用した“上手に”使いこなせる公共交通を目指す。</li> <li>まちづくりなどと連携した持続性の高い公共交通を目指す。</li> </ul>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することを検討願います。本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
宮崎市地域公共交通会議	<p><b>【事業内容】</b>                      ①地域及び公共交通のデータ収集・分析・事業者ヒアリング                      (地域特性の把握/公共交通の収支状況の把握等の現状分析)                      ②住民アンケート・利用状況調査                      ③地域公共交通網の検討                      (現況調査・ニーズをもとに、問題点、課題を整理/コミュニティ交通導入を含めた望ましい公共交通のあり方)                      ④地域公共交通網形成計画(案)とりまとめ                      (持続可能な公共交通網の形成に向けた基本方針、目標、指標、達成状況の評価方法等の検討)                      ⑤網形成計画策定に係る協議会の運営</p> <p><b>【結果概要】</b>                      ①定期券利用者が多く中、今後の生産年齢人口の減少に伴い、通勤通学での公共交通利用が減少                      ②外国人旅行者は増加しており、新たな需要として期待                      ③国・県・市による財政負担の大きさを確認                      ④長大系統や需給バランスにギャップのある路線が存在                      ⑤黒字系統のほとんどが系統距離20キロ以内の路線                      ⑥人口分布と路線バス利用者数に乖離が見られる地域が存在                      ⑦路線バスの利用パターンは、橋通りなど市中心部から中央西、大淀、櫛、大宮区間での利用が多い                      ⑧バス利用の多い地域、少ない地域とも運行本数、運行時間に不満                      ⑨バス利用者の定時性に関する不満が多く、必要な改善点でも定時性の確保を求める声が多く                      ⑩中心部では、乗継に関する時間、運賃、円滑化で改善要望が多い                      ⑪公共交通の将来について、必要になったら利用するなど市民の当事者意識の低さが露呈                      ⑫財政負担による運行を継続すべきとの意見が過半数を超える                      ⑬まちづくりと運動するため、立地適正化計画との連携の必要性を確認</p>	A	<p>●基本理念                      誰もが利用しやすい、持続可能な公共交通ネットワークの構築</p> <p>基本方針1                        活力ある都市を支える、持続可能な公共交通ネットワークの形成</p> <p>◆公共交通利用者数の維持・増加                      ◆運行効率化による経費低減                      ◆収支改善</p> <p>基本方針2                        分かりやすく利用しやすい公共交通サービスの構築</p> <p>◆公共交通の利用満足度向上(不満足解消)</p> <p>基本方針3                        地域の実情に応じた公共交通の構築及び意識の醸成</p> <p>◆地域の実情に応じた、地域に利用される公共交通の運行                      ◆コミュニティ交通の効率化                      ◆公共交通の利用回数の向上</p> <p>基本方針4                        新たなモビリティサービスの導入・連携による移動の円滑化</p> <p>◆移動の満足度向上</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
串間市地域公共交通会議	<p><b>&lt;事業内容&gt;</b>                      1) 地域の現状等の把握及び整理                      ・土地利用の状況、人口・世帯数の状況、日常生活圏の現状など                      2) 公共交通の現状等の把握及び整理                      ・整備状況、運行及び利用状況、利用環境                      ・住民・利用者等の意向調査（アンケート及び集落訪問調査）                      3) 移動特性やニーズの把握及び整理                      ・移動実態調査、バスの利用実態調査（乗降調査）、施設来訪者の移動実態調査                      4) 本市地域公共交通網形成計画の方向性及び事業の検討                      ・問題点・課題の整理、ニーズの分析、計画の方向性及び事業の検討、新たな交通ネットワークモデル及び具体的事業案の検討、                      5) 網形成計画策定に伴う串間市地域公共交通会議の開催</p> <p><b>&lt;結果概要&gt;</b>                      ・人口動態の将来予測では、年少人口とともに高齢者人口も減少していき、移動ニーズも縮小していくことを確認。                      ・生活利便施設は公共交通網・道路網の集中する拠点に集中しており、利便性は概ね確保されていることを確認。                      ・コミュニティバスについては、ほとんどの路線で便あたりの利用者が2人に満たず、運行効率の低下が懸念。                      ・人口減少、移動ニーズの縮小傾向から、地域内移動を小規模かつきめ細かな対応へとシフトしていく必要性を確認。                      ・住民の移動ニーズと現公共交通の路線網・ダイヤの不一致を確認。                      ・市木地区については、経済圏が市外地域（日南市）であるため、他地区と異なる移動手段の確保が課題であることを確認。                      ・市内の高校に通学する学生の公共交通による移動は、全体の1割未満であり、一方、自家用車での送迎が3割弱となっており、雨天時にはその割合が6割にも及び、自家用車による送迎に依存していることを確認。                      ・公共交通の維持・効率化のためには、スクールバス活用                      の必要性を確認。                      ・観光振興やまちづくりと公共交通の連動性を持たせるため、自治体・事業者・市民が一体となった連携の必要性を確認。</p>	A	<p><b>&lt;補助対象事業名&gt;</b>                      地域公共交通調査事業（計画策定事業）</p> <p><b>&lt;事業内容及び実施時期&gt;</b>                      1) 地域の現状等の把握及び整理                      ⇒ 2019.8～9                      2) 公共交通の現状等の把握及び整理                      ⇒ 2019.8～9                      3) 移動特性やニーズの把握及び整理                      ⇒ バス乗込み調査(2019.9)                      ⇒ 住民アンケート(2019.9～10)                      ⇒ 施設来訪者ヒアリング調査(2019.11)                      ⇒ 高校生アンケート(2019.11)                      ⇒ 集落調査(2019.11)                      4) 本市地域公共交通網形成計画の方向性及び事業の検討                      ⇒ 2019.9～12                      5) 串間市地域公共交通会議の開催                      ⇒ 第1回(2019.7)                      ⇒ 第2回(2020.1) * 予定                      ⇒ 第3回(2020.2) * 予定</p> <p><b>&lt;計画策定の方針&gt;</b>                      ▼基本理念▼                      「誰もが活躍し、安心して生活できる                      身近な移動環境の創造</p> <p>人口減少や少子高齢化、市外への人口流出などの厳しい社会環境の中、自立した地域を維持していくため、まちづくりや観光、福祉、教育等の様々な分野と連携しながら、移動弱者であっても安心して生活でき、活躍できる環境を創造し、総合力によって地域活力の維持・向上を目指す。</p> <p>◎基本方針1                      地域の変化に応じた持続的な公共交通網の構築                      ◎基本方針2                      道の駅を中核とした移動が楽しくなる交通体系への再編                      ◎基本方針3                      地域活力の維持・向上に向けた移動の促進</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成するとともに、目標設定については、短期、中期、長期に実施できることを明確にしたうえで設定することをご検討願います。本計画の策定により、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	